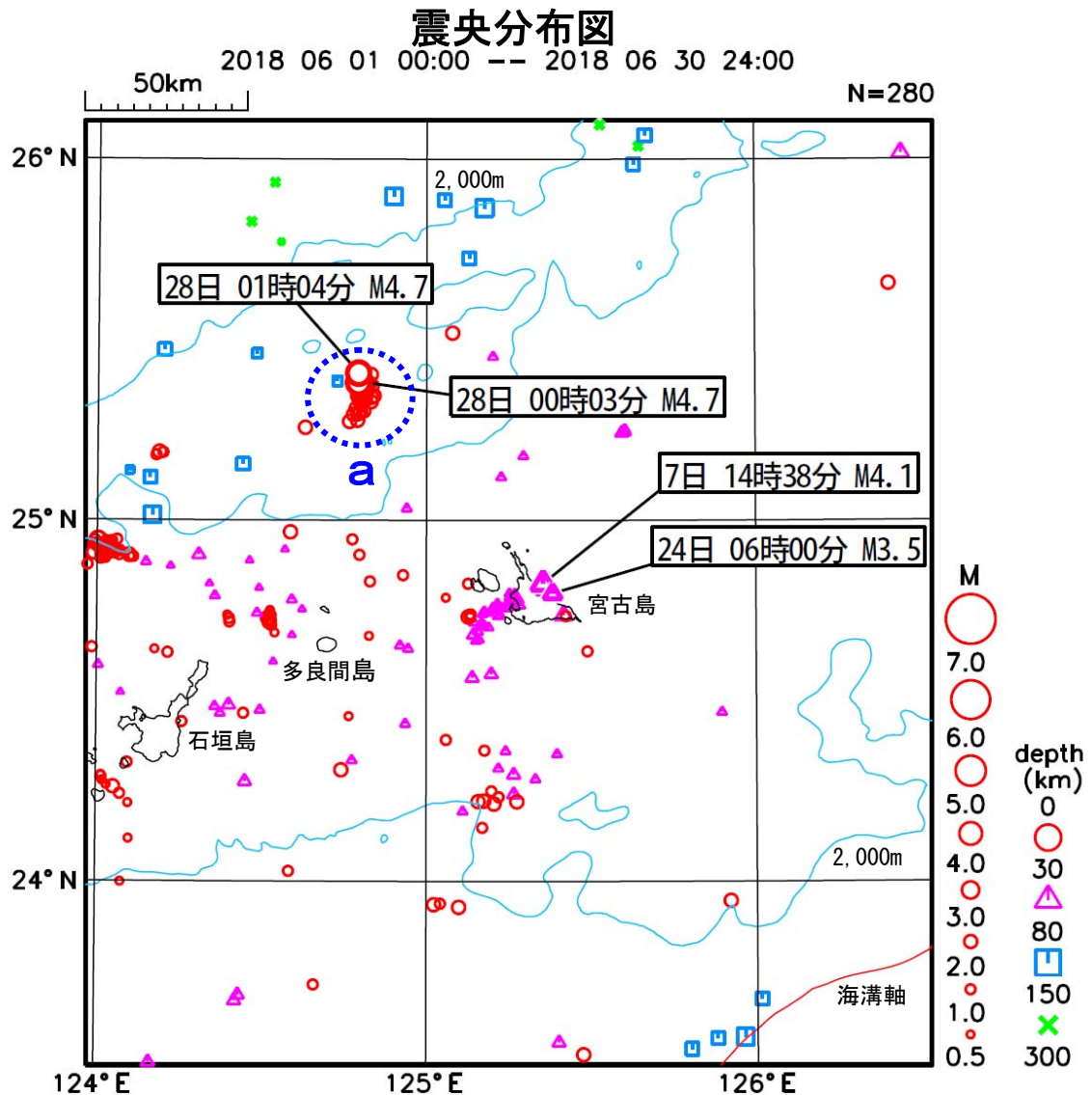


宮古島地方の地震活動図

2018年（平成30年）6月

宮古島地方気象台



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ
N：地震の回数（マグニチュード0.5以上の回数です。）
管内で震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

【概況】

今期間、宮古島地方で観測した地震は280回（5月314回）で、震度1以上を観測した地震は4回（5月1回）でした。

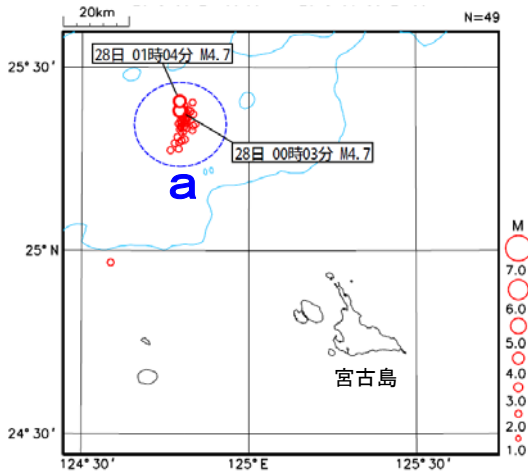
7日14時38分に宮古島近海（宮古島付近）で発生した地震（M4.1、深さ49km）により、宮古島市で最大震度1を観測しました。この震央付近では、24日06時00分にも宮古島市で最大震度1を観測する地震（M3.5、深さ50km）が発生しました。

28日00時03分と同日01時04分に宮古島北西沖で発生した地震（ともにM4.7、それぞれ深さ10kmと11km）により、宮古島市で最大震度1を観測しました（今期間最大規模、領域a、次項参照）。

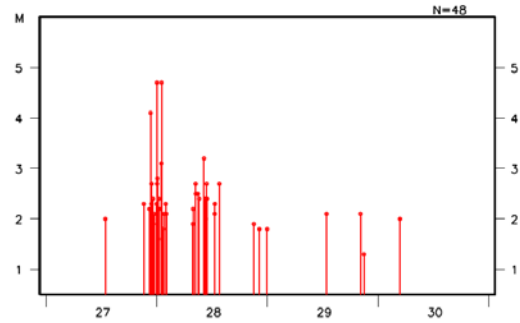
●宮古島北西沖の地震活動

6月27日から28日にかけて、宮古島北西沖でややまとまった地震活動があり、28日00時03分と同日01時04分にM4.7の地震（最大震度1、深さはそれぞれ10kmと11km）が発生しました。

震央分布図
(2018年6月27日～2018年6月30日、
深さ0km～30km、M≥1.0)



領域 a 内の地震活動経過図



宮古島地方で震度1以上を観測した地震の表(期間:6月1日～30日)

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2018年06月07日14時38分 沖縄県 震度 1 : 宮古島市平良西里*, 宮古島市下地*, 宮古島市上野支所*, 宮古島市伊良部長浜*	宮古島近海	24° 49.4' N	125° 21.2' E	49km	M4.1
2018年06月24日06時00分 沖縄県 震度 1 : 宮古島市平良下里, 宮古島市平良西里*, 宮古島市下地*	宮古島近海	24° 47.8' N	125° 22.9' E	50km	M3.5
2018年06月28日00時03分 沖縄県 震度 1 : 宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市伊良部国仲 宮古島市伊良部長浜*	宮古島北西沖	25° 22.8' N	124° 47.5' E	10km	M4.7
2018年06月28日01時04分 沖縄県 震度 1 : 宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市平良池間, 宮古島市伊良部国仲 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市城辺福西*, 宮古島市伊良部長浜*	宮古島北西沖	25° 24.4' N	124° 47.5' E	11km	M4.7

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

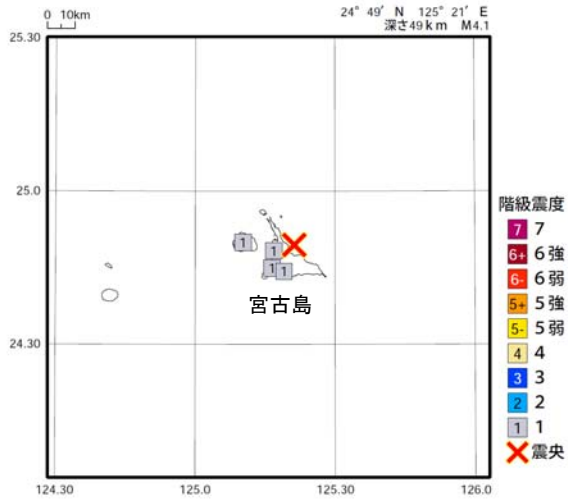
※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震緊急観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

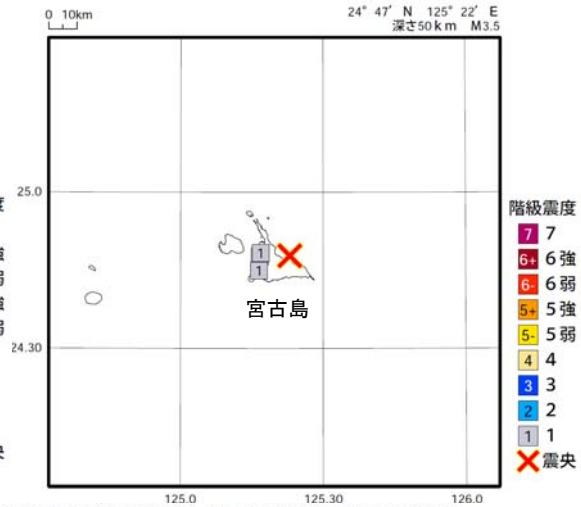
※ データについては精査により、後日修正することがあります。

宮古島地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図

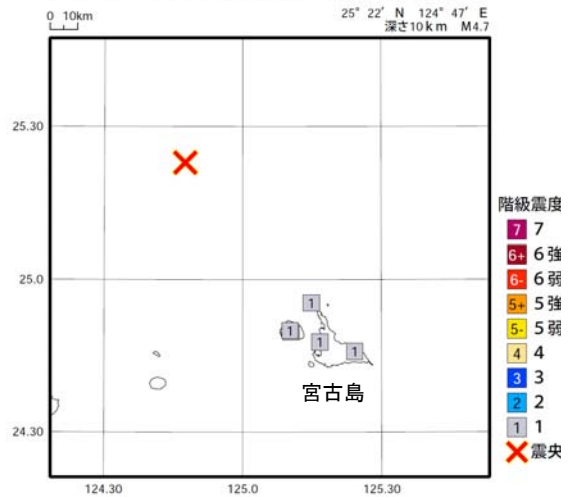
2018年 6月 7日14時38分 宮古島近海の地震の震度分布図



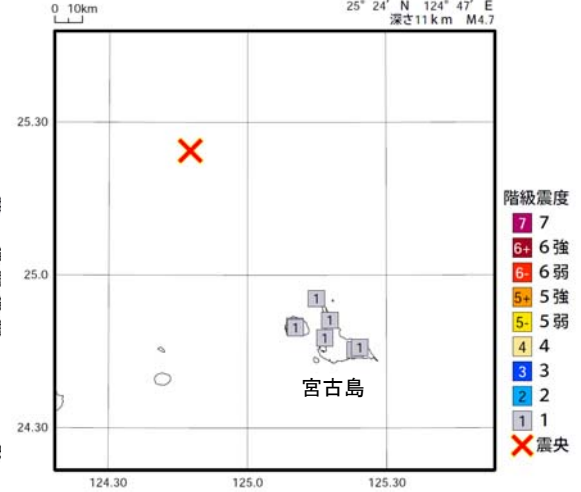
2018年 6月 24日06時00分 宮古島近海の地震の震度分布図



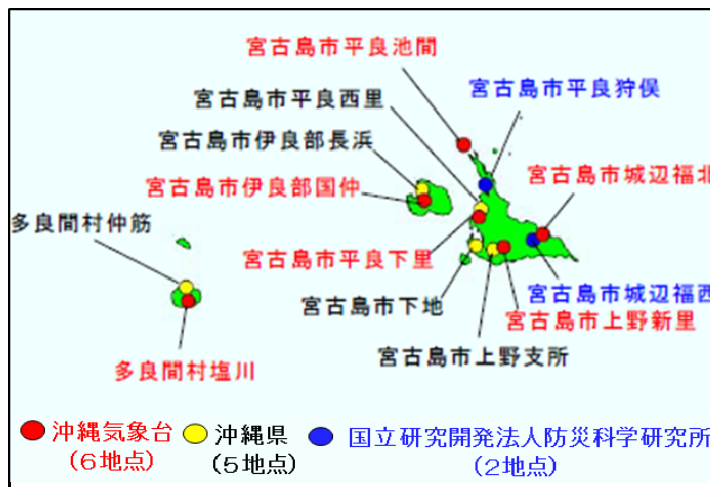
2018年 6月 28日00時03分 宮古島北西沖の地震の震度分布図



2018年 6月 28日01時04分 宮古島北西沖の地震の震度分布図



宮古島地方の震度観測地点



過去の地震活動は宮古島地方気象台のホームページで閲覧できます。

URL <http://www.jma-net.go.jp/miyako/katsudo/katsudo.htm>

本件に関する問合せ先 宮古島地方気象台 電話0980-72-3054

(地震・津波に関する出前講座を実施しています。)



地震への備えと適切な対応行動

地震から身を守るために

地震に備える

地震は…

- 地震はいつどこで起こるか分かりません。常に自分の事として考え、いつどこで起きてもその場に合った行動が出来るようにイメージトレーニングや対応行動の訓練をしておきましょう。
- 地震の強い揺れにより、ものが落ちたり、倒れたり、動いたりすることを想定しておきましょう。

事前の確認

- 室内になるべくものを置かない安全スペース（物が落ちてこない、倒れてこない、移動しない空間）を作っておきましょう。
- 家具を固定しましょう。万が一、倒れてきた場合でも、通路をふさがらないような配置を考えましょう。
- 非常時の水・食料の備蓄や、非常用持ち出し品を準備しておきましょう。
- 普段通る道で、危険な場所やものが無いか確認しておきましょう。
- 地盤の弱い場所や地震によって弱くなった場所では、地震後の降雨により、土砂災害が起こる事があるので、周囲の状況を確認しておきましょう。
- 地震が発生した時の連絡手段や集合場所について、あらかじめ家族で話し合っておきましょう。



安全スペースのイメージ

（東京消防庁の資料を基に地震調査研究推進本部が加筆）

地震が起きた時の適切な対応行動

地震の揺れを感じたら…

周囲の状況に応じてあわてず、まず身の安全を!!

緊急地震速報を見聞きしたら…

家庭では

- 安全スペースに避難する
- 頭部を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛びださない
- むりに火を消そうとしない



屋外（街）では

- ブロック塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意



人が大勢いる施設では

- 係員の指示にしたがう
- あわてて出口に走りださない



鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりつかまる

